

2016.10.15

ろくでなし子様

清 義明

質問状

拝啓 秋冷の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

取材依頼に関しまして、ご検討いただきまして誠にありがとうございました。

今回のお断りのご趣旨、当方としても理解させていただきました。ろくでなし子さんからの直接の対話の提案があったとはいえ、無理な申し出に時間をとっていただき、恐縮しております。

ともあれ、今回どうしても聞かせていただきたい事項がございます。

本件、「反レイシズム」という、ろくでなしさまも賛同いただいているテーマの事項かと存じますので、ぜひとも簡単でかまいませんので、ご回答いただければ大変ありがたく思います。

ぜひともご協力のほどよろしくお願いいたします。

最後に文中にて申し訳ありませんが、健康で聡明なお子様と旦那様と幸せな家庭を得られるようにお祈り申し上げます。そのうえで、いつかお目にかかれる日が来ることをお待ちしております。

敬具

記

【質問に際しての前提】

・ろくでなし子さまが NGO アムネスティ・インターナショナルのイベント「ろくでなし子 @AMNESTY～表現の自由と人権をろくでなし子裁判から考える～」にご出演の予定に対して、アムネスティがキャンセルを判断された際に出された、公開の「要望書」(Urgent inquiry about Amnesty Japan)に以下のような記述がございます。

一部の “アンチろくでなし子” の人達が、私がアムネスティのイベントに参加することを阻止しようと、わたしの悪口や、「ろくでなし子はレイシストだ」などという有りもしないデマをアムネスティ日本支部のツイッターやフェイスブックに書き込んだ事によると思われます。私は、レイシストと呼ばれて看過できるものではありません。なぜなら、そのような差別的な発言やそう思われるような発言すら一切したことがないからです。調査していただければわかることです。

It may be because of slanderous posts on Amnesty Japan's Twitter and Facebook pages by internet trolls. For their own confused reasons these trolls wrongly accuse me of being racist. I have never made discriminatory remarks and my innocence of the “racist” charge is obvious to anyone who fairly researches it.

※英文と日本語文は若干意味が違います

しかし、当方の調査によると、

(1)ろくでなし子さまはかねてからインターネット上で差別用語ではないかと議論があった「ファビョる」という言葉を繰り返し使用され、

(2)その言葉が差別用語であるとツイッター上で指摘された、2016年2月14日に以下のようなやりとりをされています。

@k3_neoprotesters

あの、ちょっと意見を。実は《ファビョ》は差別語なので、あれはマズいなあ、と思いつつながら見ていたりしました。ただ《差別語ってなんだ?》という所をちゃんと説明しないとなあ、とも。また、ここについて、お話しする機会があれば有り難いで

す。

@6d745

クソワロタの様な単なるネットスラングと捉えてました。わたしにとって差別用語とは、侮蔑を含めて相手の身分や性別や出身背景などを罵る状況で用いる言葉だと思うので、最初は困惑しましたが、その言葉を使う事で傷つく人がいるなら気がつけます。すみませんでした

【差別用語としての「ファビョる」について】

火傷(ファビョウ)というのは、韓国人・朝鮮人特有の精神傾向とされている症状ですが、それを逆手にとって、2000年代初頭から韓国人・朝鮮人が民族的に劣っているという意味で指す差別用語としてネットで使われるようになりました。現在では、ネットスラングとしてこの文脈から離れて使われることも出てきました。

しかし、もちろんこの用語を差別用語として使っている人は多数おり、かつ、それをどのような文脈であれ、読んで傷ついたり、立腹したりする人も当然おります。おそらく、インターネットを常日頃使われているような在日コリアンの方々はほとんどがそうではないでしょうか。その意味で、「ファビョる」という言葉は、ろくでなし子さんがおっしゃるとおり「侮蔑を含めて相手の身分や性別や出身背景などを罵る状況で用いる言葉」となります。

以上を前提として以下の質問をいたします。

【質問事項】

- (1)アムネ스티への公開要望書にある「差別的な発言やそう思われるような発言すら一切したことがない」というのは上記のろくでなし子さんの発言に鑑み、事実と違うのではないか。
- (2)ろくでなしさんがツイッター上での真摯に謝罪したうえで、回答されているように

「その言葉を使う事で傷つく人がいるなら気をつけます」ということであれば、その該当のツイートを削除するなりすべきではなかったか。

(3)今回のアムネスティイベントに抗議があったのは、このような措置を怠ったままであったからではないか。これがあれば、このような事態はおこらなかったのではないか。

(事実、多くのろくでなし子さんのツイッターなどのインターネットフォロワーは、ろくでなし子さんが、この差別用語ととられかねない言葉をもう使わないと発言されたことを知りません)

以上についてご回答いただければありがたく存じます。

【私見】

- ・自分はろくでなし子さんの「表現の自由」の裁判闘争に、いかに芸術的見解が相違しようと支持する立場です。

- ・以前、「ばよばよちーん」なる言葉をもって、反レイシズム運動に関わる一部のものが、ろくでなし子さんを攻撃するのに対して、異議を唱え反対してきた1人です。その反レイシズム運動に関わる人達はほとんどが自分の友人・知人たちです。それでも、ろくでなし子さんへの攻撃はおかしいと言い続けてきました。

- ・しかし、今回は、そのうえで、差別用語ではないかと議論がある言葉を用いてネット上で発言されているのは、もはや挑発が目的としてか思えない・・・と考えております。それをもってアムネスティに抗議が来るのは、むしろ差別に反対する立場ならば当然の行為ではないか。

- ・よって、差別用語と議論がある言葉を、それが承知でなおも使い、かつその言葉を放置したうえで「自分がレイシストと言われるのは納得がいかない」というのに対して、疑問を感じざるを得ませんし、批判せざるを得ません。